

事業番号	05 02 24	事務事業シート(25年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	周産期医療対策事業			担当課	部局	健康福祉部
				課・室	医療推進課	
総合5か年計画	プロジェクト			E-mail	iryo@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	6-1 健康で長生きできる地域づくり 4 医療施策の充実		実施期間	H22 ~	

1 事業の概要

目指す姿	平成22年度に策定した「周産期医療整備計画」を踏まえ、周産期医療機関の連携により母体・新生児の搬送体制を確保し、高度な周産期医療を提供する「周産期医療システム」の充実を図るとともに、周産期母子医療センターの運営費への補助を行い、周産期の医療提供体制を整備する。 平成29年度目標:周産期死亡率3.6人(出産千人当たり)を維持する。				
現状	分娩取扱施設の減少やその地域偏在に加え産科医の不足等により周産期医療を担う医療機関の負担が増加している。安全で安定した周産期医療の提供のため、医療施設間での連携と、ハイリスク分娩や救急搬送等に対応できる体制の整備、維持が必要。				
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 国庫補助の活用実施が効率的である。 救急医療対策事業実施要綱 医療提供体制推進事業費補助金交付要綱			
成果目標・事業内容	① 成果目標 周産期医療協議会開催回数 2回 運営費補助が必要な周産期母子医療センターのうち補助実施施設数の割合 8/8施設				
事業内容	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H25事業実績		H26
			(当初)	(決算)	(当初)
	周産期医療協議会	直接	母体・新生児搬送状況等調査協議会開催1回		687
	周産期母子医療センター運営事業補助金	補助金	8施設		180,830
国庫返還金	直接	H24事業確定に伴う国庫返還金		3	
		合計	173,803	75,999	181,517

事業コスト	区分(単位:千円)					成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越					項目	H24末(実績)	H25			H26目標
		当初予算	183,803	156,972	173,803	181,517			目標	成果	達成状況	
		修正予算		-69,377	-93,163		協議会開催回数	4回(保健医療計画WG兼)	2回	1回	未達成	3回
	合計(A)	183,803	87,595	80,640	181,517	補助が必要な施設に対する補助実施施設数の割合	6/6施設	8/8施設	8/8施設	達成	8/8施設	
	Aの財源	国庫支出金	183,464	87,595	80,298	181,058						
		県債										
		その他(繰入金)										
	一般財源	339	0	342	459							
	決算額(B)	91,599	87,172	75,999								
概算人件費	職員数(人)	0.05	0.05	0.05	0.05							
	概算人件費(C)	413	413	413	413							
概算事業費(B(A)+C)	92,012	87,585	76,412	181,930								

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>周産期医療協議会を開催し、周産期医療機関の連携体制等の検討を行った。協議内容に応じ1回開催した。</li> <li>周産期母子医療センターの運営を行う事業者からの要望に基づき、財政支援を行った。</li> </ul>
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 引き続き事業を実施していくとともに、連携病院及び連携強化病院の見直しを含めた検討を行っていく。
---------------------	--